

胃がんの病態

エビデンスノート325



胃がんの全体像を見てみよう！

概要

- 胃がんの90%以上が腺癌という癌の種類
- 早期胃がんと進行胃がんがある
- 転移様式には、シュニッツラー転移・ウィルヒョウ転移・クルーケンベルグ腫瘍などがある！
- 原因⇒ヘリコバクターピロリ感染、食塩過剰摂取、喫煙

イラストで見ていこう！

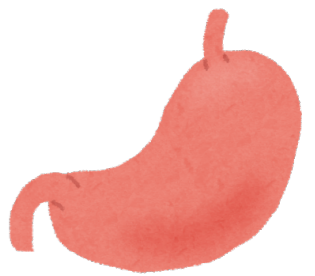


腺癌ってなに？

腺組織(何かを分泌したり吸収したりする組織)にできる
癌のこと！

胃や大腸

消化酵素を分泌したり食べ物を吸収したりする働き



乳

母乳を分泌する働き



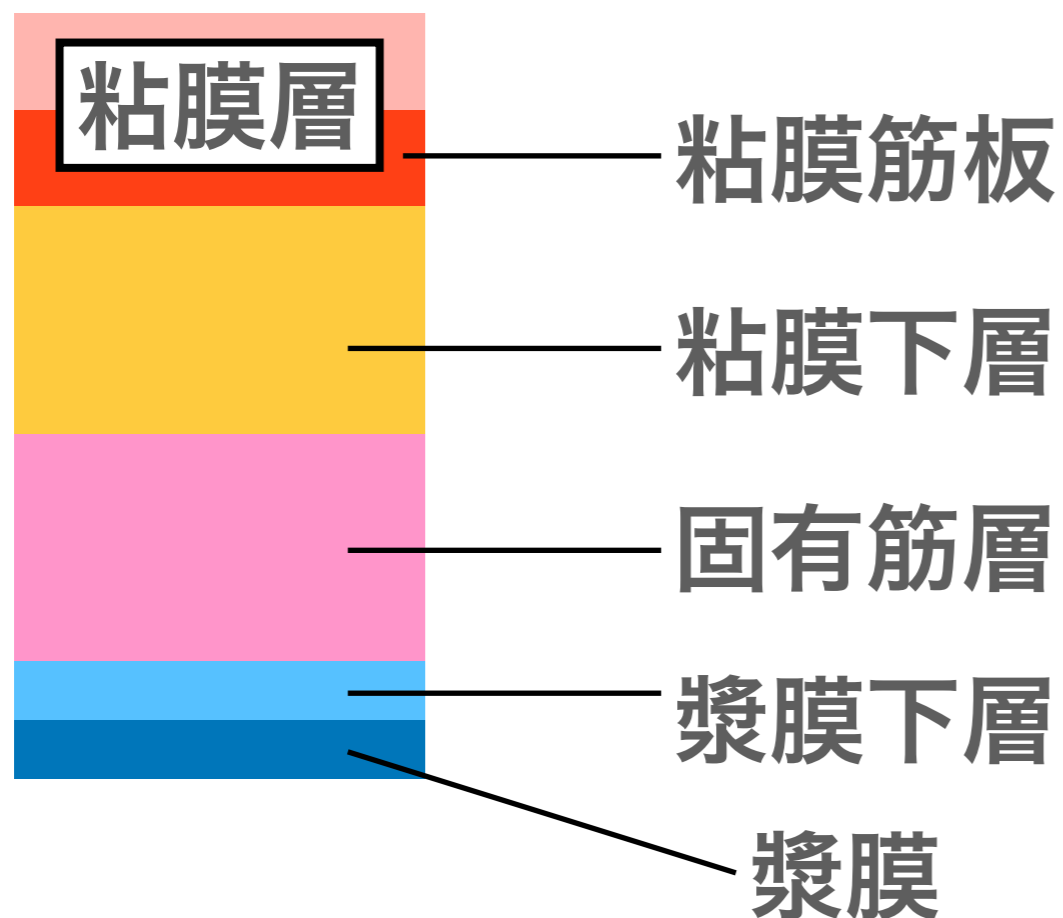
何かしらを分泌している！
だから胃癌や大腸癌、乳癌では腺癌が多い！

早期胃がんと進行胃がんの違いは？

早期胃がん → 癌の侵食が粘膜炎層まで

進行胃がん → 癌の侵食が粘膜炎層を超えたもの

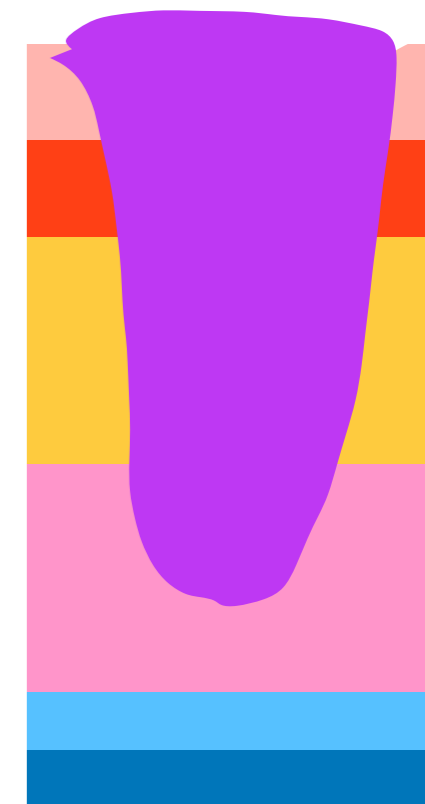
正常な組織



早期



進行

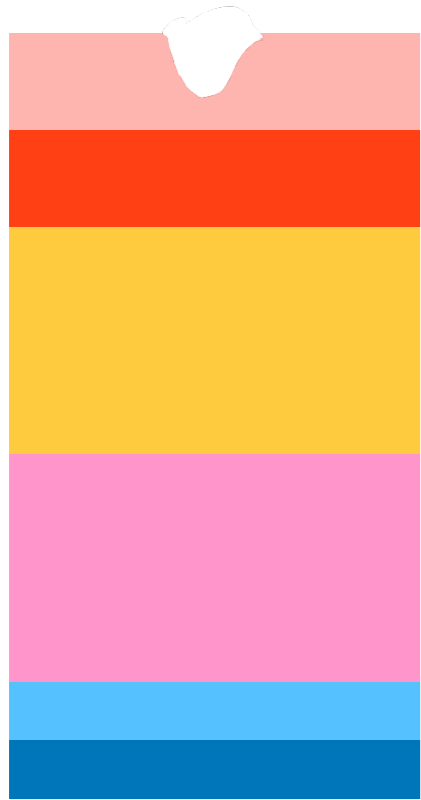


ちなみに、びらんと潰瘍の違いは？

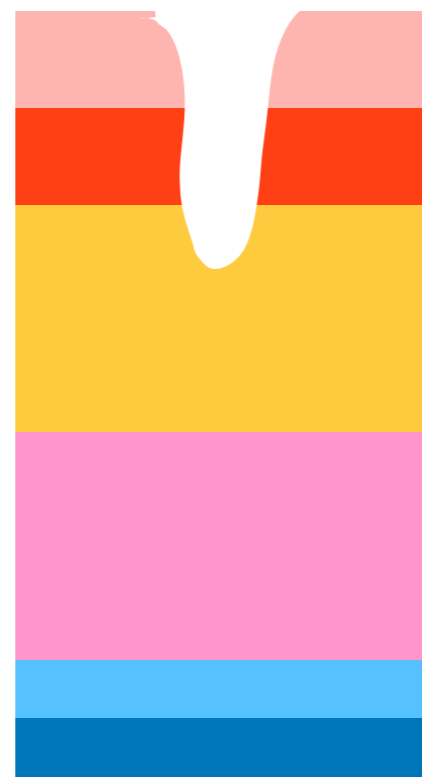
びらん→粘膜層の欠損!!

潰瘍→粘膜筋板を超えた欠損

びらん(I)



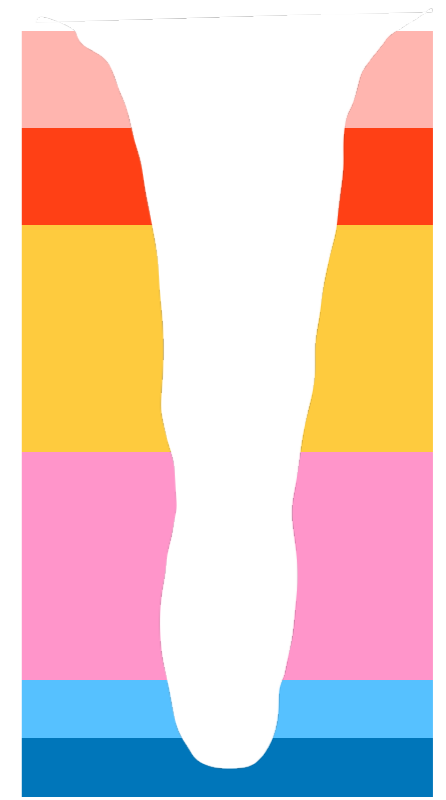
潰瘍(II)



(III)



(IV)



粘膜下層まで
欠損

固有筋層まで
欠損

漿膜下層or
漿膜まで欠損

粘膜層のみ欠損

癌の転移様式は？

胃癌が転移する経路は3つある！

→ 血行性転移、播種性転移、リンパ行性転移

血行性転移

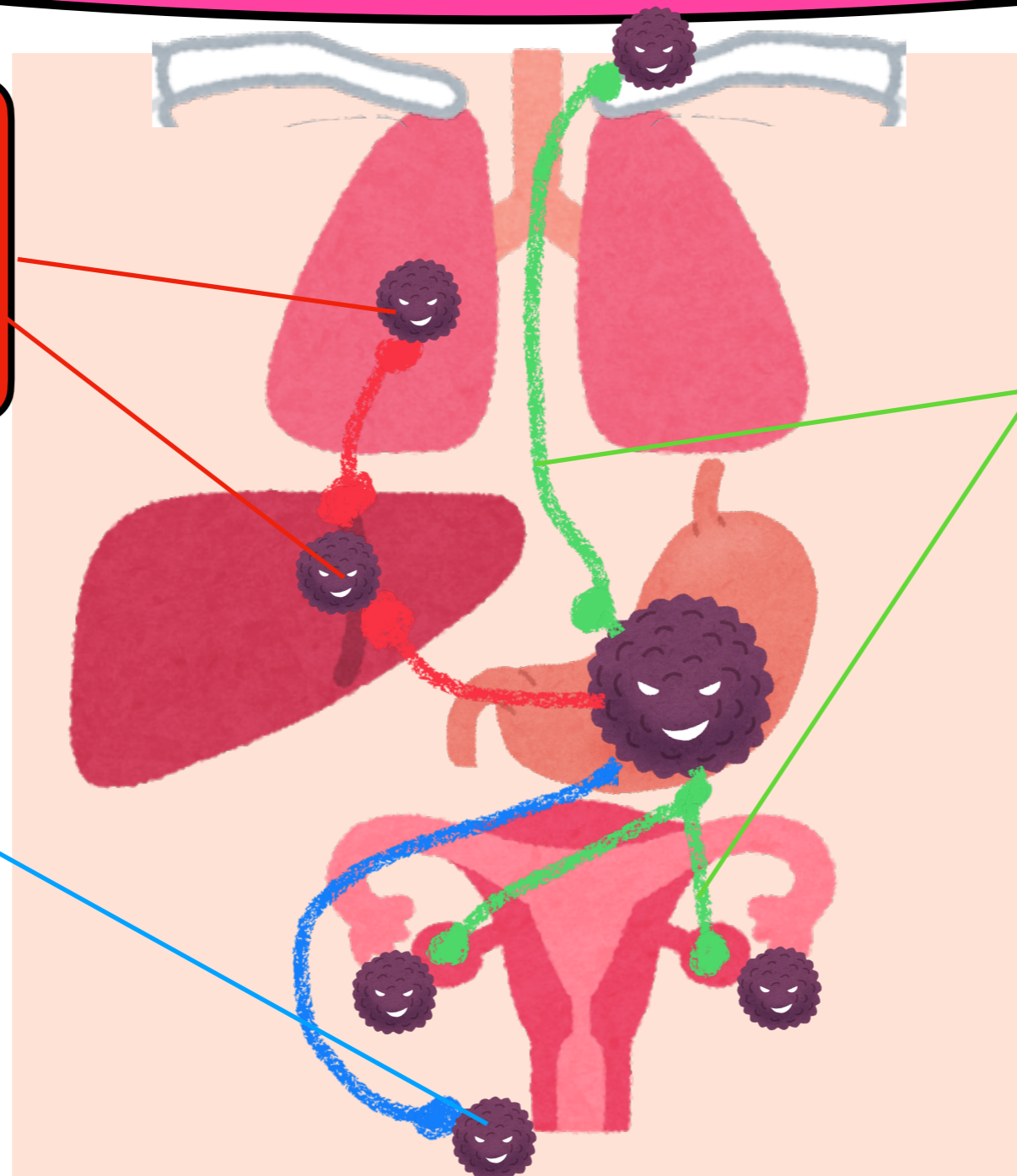
● 血管を介して
転移していく

播種性転移

● 臓器を破って
お腹中に飛び散る
転移

リンパ行性転移

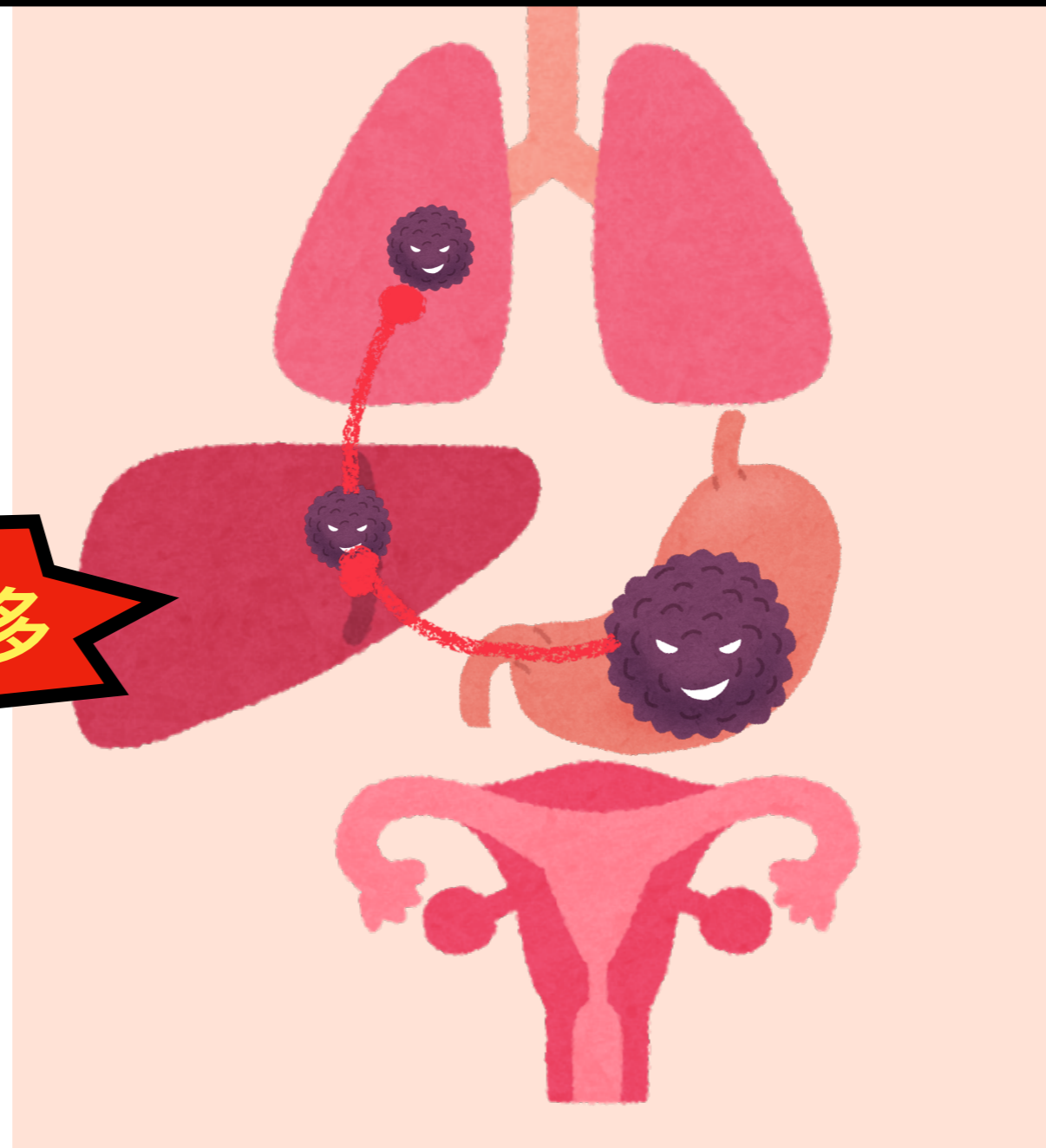
● リンパ管の流れ
に乗って転移する



血行性転移の特徴

血行性転移

- 血管を介して転移していく
- 肝転移・肺転移などがあり、肝転移が最も多い



肝転移が最多

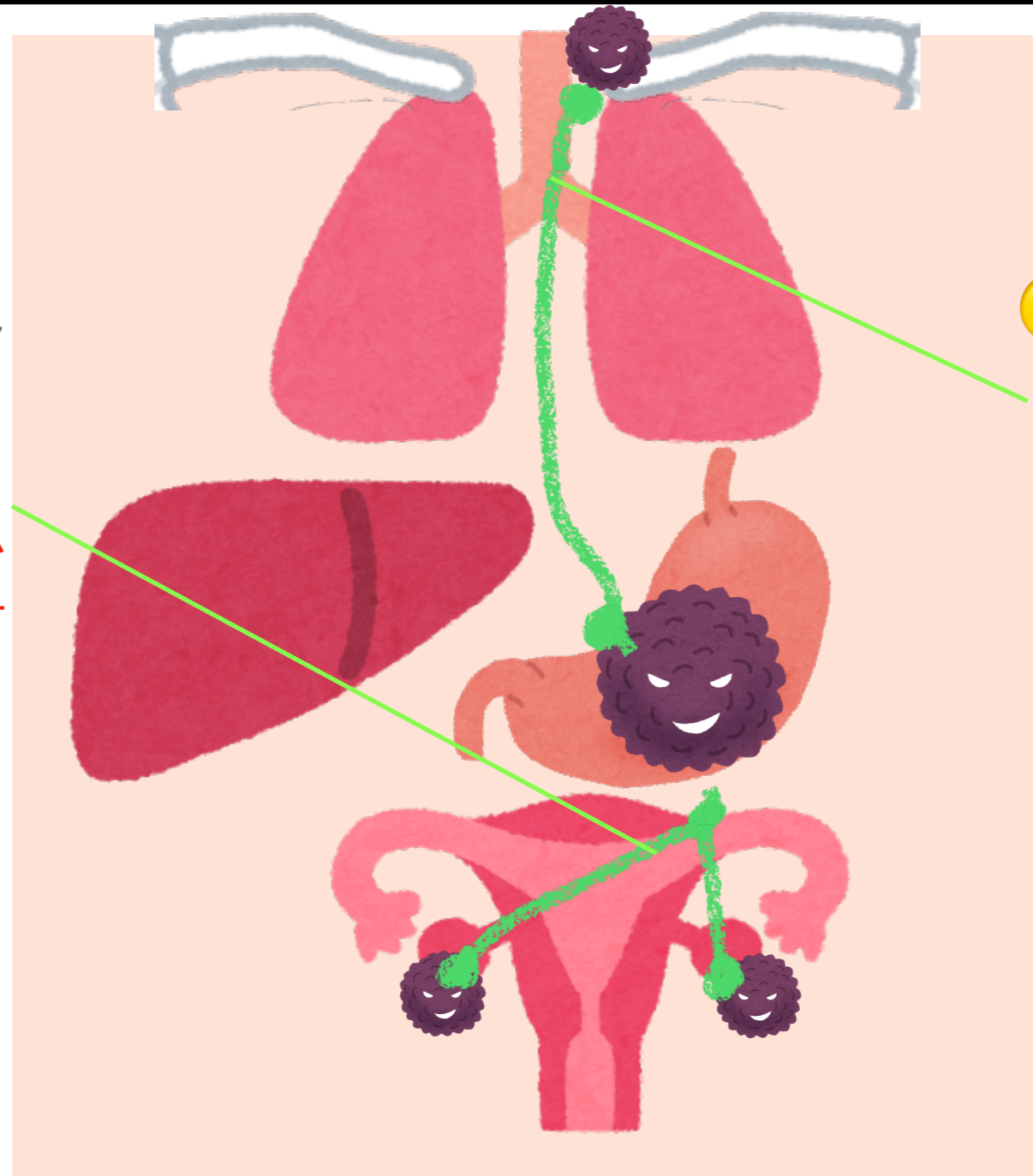
リンパ行性転移の特徴

リンパ行性転移

- リンパの流れに乗って転移していく
- ウィルヒョウ転移、卵巣転移(クルーケンベルグ腫瘍)がある

卵巣転移

- 両方の卵巣にリンパを介して転移する
- クルーケンベルグ腫瘍という



ウィルヒョウ転移

- 左鎖骨の上辺りにリンパを介して転移すること

播種性転移の特徴

播種性転移

- 臓器を破ってお腹中に飛び散る転移

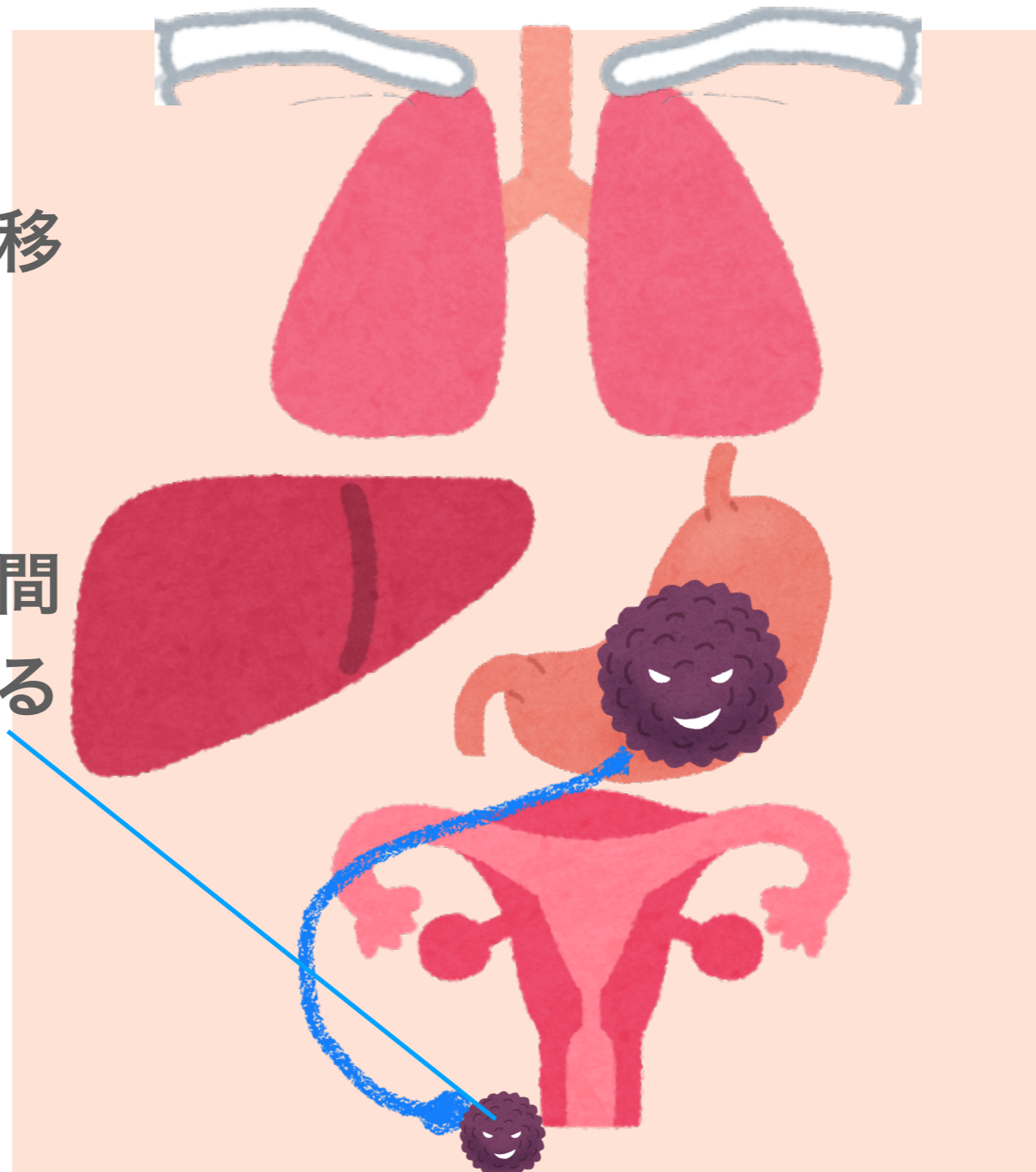
ダグラス窩転移

- シュニッツラー転移

という

- ダグラス窩とは？

→女性にしかない空間で、子宮あたりにある



ヘリコバクターピロリに感染すると？

普通の細菌は胃酸によって溶かされるので生存できない

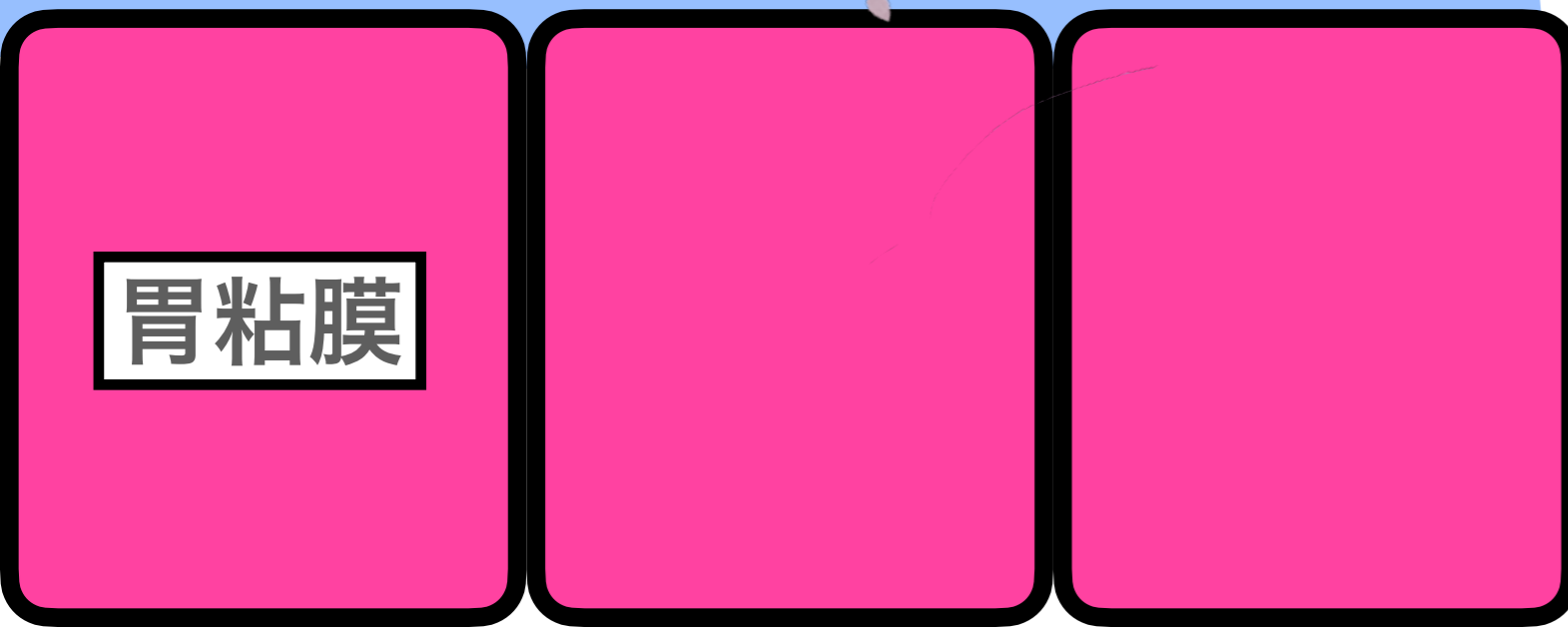
ヘリコバクターピロリは胃酸を中和する能力があるので胃に滞在する！

胃酸

粘液

胃粘膜

胃粘膜が障害されて胃癌につながる！



ちなみに粘液はこんな働き

- 胃酸ってめちゃめちゃ強力なので胃自身は溶けないように、「粘液」を分泌している



The diagram illustrates the stomach's internal environment. At the top is a yellow area labeled '胃酸' (Stomach Acid). Below it is a blue layer labeled '粘液' (Mucus). At the bottom are five pink rounded rectangular blocks representing the stomach lining, with the central one labeled '胃粘膜' (Gastric Mucosa).

胃酸

粘液

胃粘膜

ヘリコバクターピロリの能力の秘密

胃酸はpH1~2

ウレアーゼ
分泌

胃酸

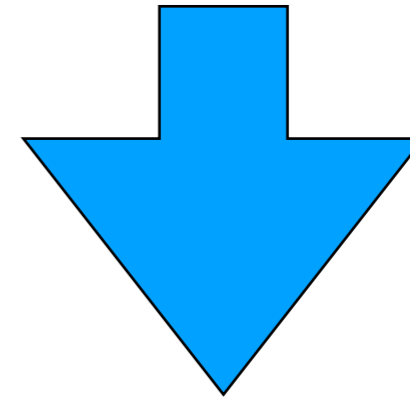
尿素

アンモニア

粘液

胃粘膜

①ピロリ菌はウレアーゼという液体を分泌！



②ウレアーゼは胃液中の尿素をアンモニアに変換させる

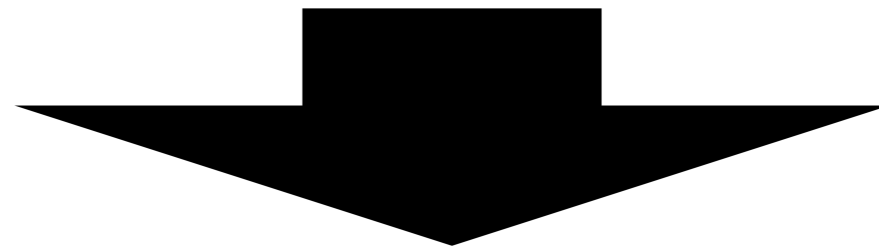
アンモニアが胃酸を中和する！

もっと簡単に言うと

胃酸はpH1~2の酸性

VS

ウレアーゼによって産生されたアンモニアは
アルカリ性



ちょうど良い感じに中性になるから
ピロリ菌は生きていける！

ちなみにピロリ菌感染を調べる検査

迅速ウレアーゼ試験

→あらかじめ用意した尿素の中に患者の生検を入れる

ピロリ菌感染してれば、尿素をアンモニアに分解して
phをあげる！

